

# 桜の森の満開の下

坂口安吾 作

語り

加藤 翠

二胡・歌

中川えりか(アカラ)

—語りと、歌・二胡による—

2026年4月18日(土) 14時・18時半  
於 新潟・市民映画館シネ・ウインド

1906-2026  
坂口安吾  
生誕祭  
120

坂口安吾生誕祭120

千賀ゆう子没後7年追悼公演

4291

俳優・演出家の千賀ゆう子は、『桜の森の満開の下』（1983年初演。脚本/岸田理生）を生涯にわたり日本各地、ポーランドやルーマニアなど世界でも上演いたしました。新潟での初演は1984年、シネ・ウインド。その後、演出や上演スタイルを自在に変幻させながら、新津市美術館や新潟県民会館、安吾生誕100年祭の新潟りゅうとび能楽堂でも上演。「安吾はそも、私の人生の師匠」と詠んだ彼女は、この作品のみならず数多くの安吾作品を演劇、リーディングパフォーマンス、語りなどさまざまな形で舞台にかけ続け、新潟市はもちろん松之山や桐生市といった安吾ゆかりの各地とも深く交流を重ねました。今回安吾生誕120年の節目に、千賀ゆう子没後7年の追悼の意を込めて、彼女のもとで語りを学び、多くの安吾作品を共にした俳優、加藤翠が、歌・二胡の中川えりかとともに『桜の森の満開の下』を語ります。

二胡と歌が言葉の向こうに物語の景色を描き出し、その音色に導かれるように、語り部の声が切なくも美しい物語を紡ぎ出す。残酷な世界でありながら、その朗読は不思議な透明感に満ちていた。  
—— 梨本諦鳴(映画監督・映像作家)

2026年4月18日(土) ① 14:00 ~ ② 18:30 ~

会場 新潟・市民映画館シネ・ウインド

料金 前売 3,000円 当日 3,500円

\*受付開始・開場は開演30分前

出演者紹介



語り 加藤 翠(かとうみどり)

埼玉県出身。慶應義塾大学文学部卒。俳優養成所から劇団活動を経てフリーの俳優として活動。2005年から千賀ゆう子企画の活動に参加し、坂口安吾、岡本太郎、岸田理生らの作品や、近松門左衛門、平家物語の原文の語りに取り組む。CD「組曲・黒姫物語」、DVD「炎のメモワール(原爆被爆手記)」出演。近年は舞台演劇のほか安吾作品の語りも多く、「桜の森の満開の下」は2025年の松之山安吾まつり、神奈川近代文学館の安吾没後70年展記念朗読会でも上演している。



歌・二胡 中川えりか(なかがわえりか)

兵庫県生まれ。10歳から声楽をまなび、14歳の時三重奏(ソプラノ)でNHK音楽コンクール入賞。2004年サウスサイドレコードより歌手としてCDデビュー。同時期に二胡と出会い、二胡と歌のユニット「アカラ」を結成、日本人では数少ないプロの二胡奏者として活動する。本場中国での3年連続ワンマン公演、熊野古道世界遺産登録15周年記念奉納での演奏など、活躍の場を国内外で展開しながら、演劇や舞踏、声明など他ジャンルとのコラボレーション作品を創出している。

◆主催・問合せ

安吾の会(シネ・ウインド内)

電話 025-243-5530

FAX 025-243-5630

	シネ・ウインド		至 萬代橋
			メディア シブ
東港線 (円)	新潟伊勢丹	バス センター	ラブラ ワ代
			至 新潟駅

【交通アクセス】

- ▷JR「新潟駅 万代口」  
徒歩約15分
- ▷新潟駅万代口バスターミナル発  
6番線(萬代橋ライン)  
18番線(新潟市観光循環バス)  
「万代シティ」  
下車 徒歩約5分

新潟・市民映画館シネ・ウインド  
新潟市中央区八千代2-1-1  
万代シティ第2駐車場ビル1F

STAFF/\*\*\*\*

主催・制作/安吾の会

